

左藤先生へ。アレンツキャンプの先生方

こんにちは。寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

この度、復学支援の卒業を迎えることができ、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。二月に入りましたが、娘は元気に学校へ行っています。

思っておせば、娘が小学一年生の七月くらいから気持ち不安定になり、胸がムムムとする。不安を口にするところが増えていきました。なんとか一学期は登校しましたが、二学期に入ると初日から大泣き、過呼吸を起し、学校に行きたくない。と登校拒否。数日間は玄関までの登校や、私といっしょに保健室で数分過ごすような毎日でした。スクールカウンセラーの先生にも相談しましたが、「がんばりすぎて、コップの水があふれた状態だから、ゆっくり見守ってあげましょう」と言われ、本人の言うことをそのままきいていたが、どんどんわがままになり、大変な思いをされました。私もフルタイムの仕事をしていたが、娘に付きまとうための退職。日常生活が一変してしまいました。どうにかしないと登校できなくなると娘を目の前に、私は必死にネットを検索しました。

そこで、にどり着いたのが、10アレンツキャンプのサイトでした。水野先生の著書も家族で熟読し、私達の過干渉対応が原因かもれないと感じました。一年生の一学期は、宿題したこゝろ、00しなさい。起きなさい。寝ミがキレなさい。など、指示命令のオンパレードでした。娘自身が、自分で考え、行動できる力を親が奪っていったのです。

一学期の九月中旬からは完全不登校な状態だったため、10アレンツキャンプの復学支援を申し込み、ナセていたいただきました。支援について佐藤先生から詳しく説明があり、私達家庭に合ったアトバイスをいただきました。パパのほうに娘に干渉していたこともあり、そこを変えていく過程は本当に大変でした。私も精神的に、つらくなまることもあり、体重が5kgほど短期間に減っていました。これでも、根気よく佐藤先生が丁寧に話をきいて下さり、私の気持ちの支えになって下さいました。電話先で何回泣いたことでしょうか。一時は夫婦の危機状態でしたが、先生のおかげで乗りこえることができました。

娘のほうに、私達のPCMの実践で少しずつわがままも落ちつき、安定してきましたが、学校までにはいたらず、訪問カウンセラーの先生方に入っていたことになりました。娘はお姉ちゃんに会えることを楽しみにして、信頼関係もできていました。鈴木先生の笑い声、私も元気をもらえました!! (笑)

R2年二月の復学の際には、娘が不安になって泣いたりで大変な状態でしたが、石川先生が
ずっと付きまわってくれましたね。本当にありがとうございました。コロナの影響で、復学後、一週間で
休校となりましたが、分散登校の時には登校できるようになり、その後の継続登校も、体調
不良で一日休んだだけで、毎日登校しております。『めんどうくないなあ』と言いつつ、登校している姿は
たのしいかキリです。宿題に関しては読んでも、親からの声かけは一切していませんが、自分が取り組んで
おります。音読については読んでも気配はないものの、子も親もまあいいかと適度に
思えるようになったのだと思います。

最後になりますが、支援に携わって下さいました先生方、本当にありがとうございました。家庭教師の
すばらしさを全国に広げてください。そして、素敵な支援を全国で展開されること、ここから
お祈りいたします。これからeアレンツキャンプの発展も応援しています。